

3 - 2 宮城県沖の地震活動パターン変化 (その 10)

Current Seismicity Pattern Change around Off-Miyagi Prefecture (Part 10)

防災科学技術研究所

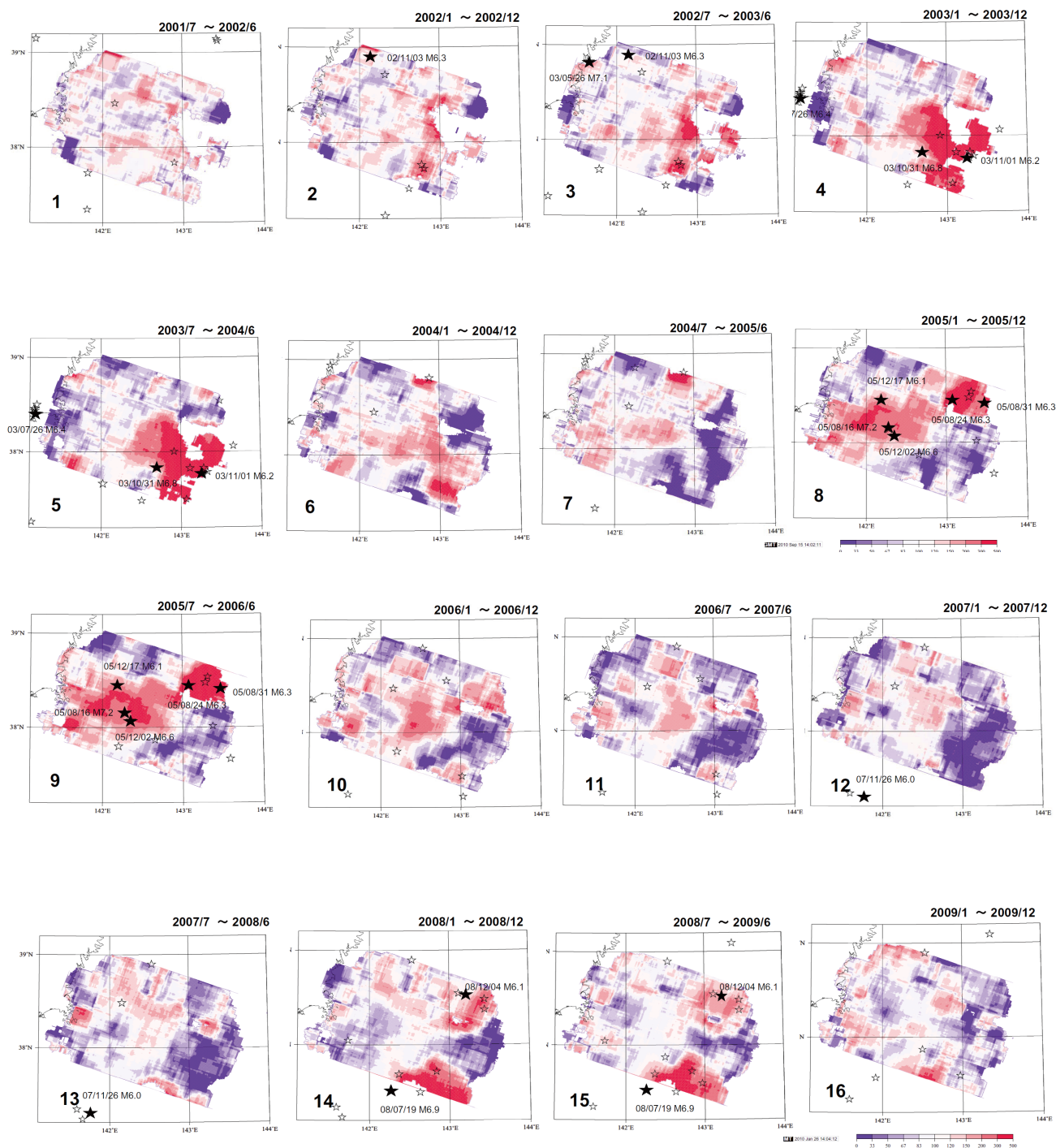
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

前報¹⁾に引き続き、宮城県沖の地震活動変化について報告する。図面は、地震活動の変化を（最新 1 年 / それ以前 5 年）の個数密度の比として示したものである（%表示、赤は活性化、青は静穏化）。対象とする地震は、太平洋スラブ内二重地震面上面の M1.5 以上とし、デクラスタリング処理を施している。第 1 図は 2001 年 7 月からの 1 年間を第 1 ステージとして、その後 8 年間にわたってタイム・ウインドウを半年ずつ移動していった各ステージの推移図である。白星、黒星は、それぞれのステージに起きた M5 及び M6 以上の地震を示す。第 4 ステージでは M6.8 (2003.10.31)、第 8 ステージでは M7.2 (2005.8.16) の地震が起き、活発な活動を引き起こしたが、それぞれのステージにおける活性化のパターンは、もっと前のステージから徐々に形成されていったように見える。すなわち、それぞれの本震の 1 年程度前から主破壊領域に応力が集中し始め、地震活動が活性化していったものと見受けられる。第 2 図は、最新の第 17 ステージである。このステージでは調査領域の西部に南北帯状が、また東部に北東－南西帯状の活性化域（赤領域）が形成されつつあるように見える。

(松村正三)

参 考 文 献

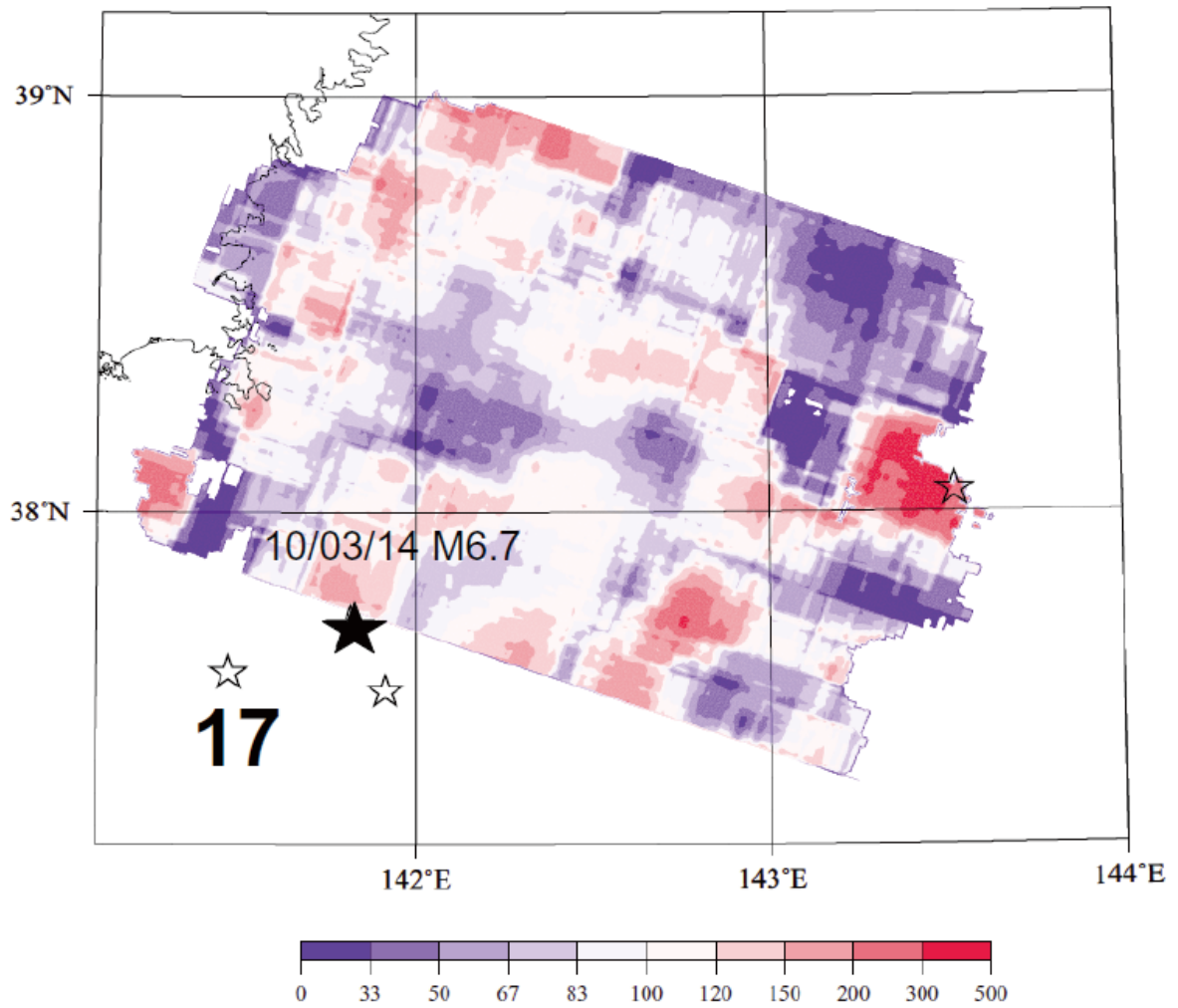
- 1) 松村正三, 連絡会報, 84, 75-76, 2010.



第1図 地震活動変化（青：静穏化，赤：活性化）．デクラスタリング処理を施したM1.5以上の地震に対して調査対象期間1年分の活動をその前5年分と比較している．白星，黒星は各ステージで起きたM5，及びM6以上の地震．

Fig. 1 Color contours correspond to the seismic activity ratios between the focused period (one year) compared with the standard one (preceding five years). Open or solid stars are epicenters of M5 or M6 and greater earthquakes occurred in each stage.

2009/7 ~ 2010/6



第2図 最新ステージ (2009年7月～2010年6月)

Fig. 2 Most recent stage (July 2009 – June 2010).